

我が家に 馬が やってきた!

馬生産・販売の プロが語る馬の飼育法

長野県・スエトシ牧場



今回お話をうかがったスエトシ牧場の藤原専務。動物への愛情を語ってくれた。

続いて実際に馬を生産・育成・販売している「馬のプロ」から「個人で馬を飼うということ」について聞いてみた。長野県佐久市にある乗馬クラブ「スエトシ牧場」は馬の販売も行っている「馬のプロ」。同牧場で専務取締役を務める藤原直樹さんに話を聞いた。

スエトシ牧場は、長野県佐久市の東に位置する山間部にある。標高は約1,000mほどあり、馬が生活するのに適している。斜面をうまく利用してレイアウトされた放牧場が敷地内に数力所ある。冬なので外気温は低いが、取材日は晴天で日差しが心地良い。ある放牧場の馬たちは馬着が着せられている。この馬たちは養老で来た馬と藤原さん。年老いてくると代謝がうまくできなくなるための措置だ。馬たちは一様に気持ちよさそうなのが印象に残った。

続いてミニチュアホースたちの放牧を見学。放牧場に放すと元気良く思い思いの場所に散っていく。どこかユーモラスに見えるミニチュアホースはとても魅力的だ。もちろん騎乗はできないが、一緒に連れて歩いたら楽しい気分になるだろう。

乗馬クラブとしてのスエトシ牧場がスタートしたのは1992年のこと。もともとは牛の牧場だったが、同年より馬を扱いはじめ牛を徐々に減らし、乗馬のみになったという。以降は乗馬教室(レッスン&外乗)と養老牧場、そしてファームステイも行っている。馬の販売を始めたのは仔馬が生まれたのがきっかけ。「馬が欲しい人がウチの馬を買ってくれて、喜んでくれる。そういうのがだんだん

うれしくなってきたんですね」と語る藤原さん。以後、業務に馬の販売が加わった。現在は繁殖も行うが、他(北海道が多いそう)から仔馬を買ってきて初期調教をしてから販売することも多いそうだ。これは、同牧場で生まれる仔馬だけでは販売数が足りないのがその理由。年間100頭ほど販売を手掛けるが、そのうち同牧場で生まれた馬は乗用馬、ミニチュアホースを合わせても10数頭という。

では、実際に買っていくのはどんな人なのだろうか?筆者ははっきり乗馬クラブや動物園などの方々がほとんどだろうと思っていた。しかし、藤原さんによるとプロに買われていくのは約3割ほど。残りの7割は個人で購入されていくという。でも、きっとミニチュアホースが多いのでは?なんて思ったら、ミニチュアホースの販売数は20頭にも満たないのだとか!?乗用馬を個人で飼っている人ってかなりいるんだなあ……。ただ、個人で購入する人でも、自宅に馬が飼える設備(厩舎や放牧場)を用意して本格的に飼う場合もあれば、乗馬クラブに自馬として預託するという人もいます。同牧場が主に手掛けるのは中間種。山間地なので、障害や馬場といったものよりも山の起伏を利用したトレッキングが主体だ。だから足の細いサラブレッドよ

りも足腰が太く、丈夫な中間種の方が適していることが理由の1つ。

「あともう1つは、私が足腰がしっかりした太い馬が好きなもので、どうしても自分の好きな馬をお客さんに持ってもらいたくなっちゃうんですね」

仔馬は生まれてからしばらくはのびのびとさせ、生後1年半ぐらい経った頃から初期調教をスタートする。本格的に騎乗しての調教がはじまるのは2歳以上。そして乗り込んで調教をし、3歳になって初めて販売できるようになるという。調教にもいろいろあるというが、乗馬クラブに販売する際は初期調教以外はあまり教え込まないようにし、本格的な調教は購入先で行ってもらう。販売先にも「あまり触らないでほしい」といわれるそうだ。逆に、個人に販売する際はできるだけ経験を積ませてから販売するようにしている。「お客さんによってはすぐ乗れるもんだって思っています。中にはいきなりまたがろうとする人とかもいますから。だからいろんな経験を積ませて……調教っていうのは経験なんですよ。なるべく多くの経験を積ませてから初めてお客さんにわたす。安心して乗ってもらえるようにしています」と藤原さん。だからこそ、一口に「売る」といっても思い入れは一人だ。手



広く眺望も良い放牧場で、馬たちもさぞかし気持ちの良いことだろう。

掛けた馬は、十分な設備が整っていない人や心構えができていない人には売りにくいときっぱり。

「(売るのは)誰でもいいってものではないんですよ。飼う環境とかを詳しく聞いて、乗馬も含めて馬を扱う経験の有無を聞いて、どうしたら馬が気持ち良く生活できるかをキチッと教えます。とくにウチに1回来た馬はものすごく教育するんで。幸せになってもらいたいから、できるだけ良い環境のところに嫁がせたいと思う

ています。先方が(受け入れ環境など)あまり語ってくれないこともあるけど、できるだけそこは聞いて、あまりひどいところには売らないこともあります」

モットーとしていることを聞いたところ、「馬に関してはどうしても預かっている馬(預託馬や養老馬)が多いから、その馬がここに来てよかったって思い、できるだけ長生きしてもらいたいですね。ただ長く生きればいいというのではなく、ストレスなく馬同士が遊べる『馬の社会』

の中で、できるだけ長く生きてほしいですね」と語ってくれた。でもそれは預かっている馬のみならず、同牧場が手掛けた馬すべて、そして同牧場にいる生き物(馬以外にも多くの動物が飼育されている)すべてにおいてそう願っているのではないだろうか? 藤原さんをはじめとするスタッフの皆さんが一丸となってモットーの実現に努めているからこそ、同牧場の馬たちはみんな穏やかでのびのびとしているのであろう。

馬を飼う! 36の疑問

実際に馬を飼うにはさまざまな疑問や不安がある。

スエトシ牧場の藤原さんに36の質問をぶつけてみた(藤原さん長時間スミマセン(笑))。

もし「馬を飼いたい」という思いを抱いている方の疑問や不安を少しでも解消できるのであれば幸いです。

飼う前に確認しておくこと

01 馬を飼うのに必要な心構えは何ですか?

寿命は25歳前後までは生きますから、自分の年齢と25年経った時まで責任を持って飼えるかどうかは重要です。まず飼う場所の近くに大動物の獣医さんを確保しておいてください。疝痛が起きた場合や夏場の熱射病など、何か問題が起こった際にすぐ来てもらえる必要があります。それと、馬がストレスなく過ごせる放牧場や厩舎を用意すること。エサの確保も重要です。これは近隣や通っている乗馬クラブがあればそこで業者を教えてもらえそうです。あと、飼う前からしんどい話になりますが、死んでしまった場合の処理についてもあらかじめ業者を呼んで処理してもらうのか、それとも死ぬ前に養老牧場に預けて面倒をみてもらうのか決めておくことも重要です。業者については近隣の家畜保健所に問い合わせれば教えてくれると思います。都道府県によっては死んだ場合に届出がいるところもあるようですので、その確認もしておきましょう。重要なのは、自分で世話ができて、生涯面倒をみられて、馬にとって苦痛がない状況で飼えるかどうか、それらを確認できた上で飼ってほしいと思います。

02 馬を飼う注意点は何かですか?

まず、飼う環境が馬に適しているか。馬は寒いのはけっこう平気なんですけど、暑いのは苦手です。放牧場には木などで日陰があるかどうか。ない場合は屋根などで日よけを設置できるか。あとは厩舎のスペースも十分確保できているか、厩舎内でも暑くなりすぎないかなどですね。周囲はできるだけ自然が多い方がいいですね。草が生えていて木があって、緑がよく見えるようなところほど馬には良い環境だと思います。あとは、放牧場の設備面。柵の高さや間隔などは十分か。馬が出ないようにしないといけません。あと、他人に迷惑が掛けないことも重要です。隣近所の人には最低限、馬を飼うことを断っておかないとトラブルのもとになります。許可というほどではないですが了承はとっておいた方がいいでしょう。

03 馬を飼う前に揃えておかなければいけない物はなんですか?

厩舎と放牧場、あとは馬房の敷き藁がおかず、それが定期的に手に入るかどうかです。サイズに決まりはありません。ただ、

ミニチュアホースを1頭、散歩せずに放牧だけで飼うとして、ストレスが溜らない形で放牧できる広さという、最低20坪ぐらいは必要でしょうか。もしその広さが確保できなかったとしても、1日2回、朝と晩に各1時間ほど散歩に連れて行ってあげて、その際に1回は広い場所で引き綱を外して自由にさせてあげてください。馬にとっては放牧が1日で唯一楽しい時間なんです。それを1日に1回か2回させてあげてほしいです。乗用馬の場合は、十分な広さの放牧場が用意できないのであれば飼えないと考えてください。エサは業者を探しておいてください。水は水道水で大丈夫です。

04 他の動物と一緒に飼う場合の注意点はありますか?

ウチでは馬以外にもいろんな動物がいます。それが馬場と隣接してますから、ウチの馬たちはどんな動物を見ても驚かないようにしてあります。今まで見たことのない動物がいたら少しは驚きますが、馬は比較的他の動物に対しては驚きません。逆に、自分で認識できないものに対しては驚きます。例えばビニールがヒラヒラしていたり、傘がバンッって開いたりとか。それに対しては



2010年12月に生まれたばかりのミニチュアホースの子。なんと放し飼い？でも逃げない!!

注意は必要です。あと、音に対しては最初は驚くと思いますが、馬は順応性が高いので、2回目以降はだんだんと驚かなくなってくると思いますよ。

05 馬を飼うのに保険などがありますか？

生命保険みたいなものが昔はありましたが今はありません。ただ、馬を介して事故が起こった際に適用される損害賠償保険などがあります。例えば車を蹴ってしまった際などに適用されるものです。種類や内容、費用は各保険会社に相談してみてください。

06 税金はかかりますか？

とくにはかかりません。届出したいものであるとすれば、伝賃検査^{でんびん}というものがあります。これは伝染性貧血^{でんびん}といって、馬から血液を採取して家畜保健所が調べてくれます。都道府県によって義務かどうかは異なります。最寄りの家畜保健所に問い合わせてみてください。必要なら検査をし、検査手帳を作ってくれます。検査は毎年行われます。

07 飼いやすい馬、飼いにくい馬はありますか？（手に入る種類で）

性格的には、物見をしなくて人懐っこい馬、あまり動揺しない馬が飼いやすいです。あとは牝馬かセン馬。種類でいうと、基本的にはみんな一緒なんですよ。よくサラブレッドは気難し^{きなんし}いとかいいますが、それはいわゆる競走馬あがりの馬だからです。サラブレッドは大体2歳から競馬の調教に入ります。鞭で叩かれて前の馬を追いつけて教えられる。強い馬になるよう調教されるんですよ。だけどサラブレッドに競馬の調教をしないで育てると、すごいやさしい馬になります。だから初期の段階でいえばみんな一緒です。ただ、サラブレッドは繊細な部分を持っています。例えば肢なんかはものすごく細いですし、ちょっとした傷でも腫れやすかったりします。それがミニチュ

アホースやポニーなんかは同じように傷を負っても大丈夫だったり。菌とかには弱いところはあると思います。あと、競技用馬としては適している種類はいます。でも今回はペットとしてということですから……。

08 牡馬と牝馬での違いはありますか？

個人で飼うのはできれば牝馬かセン馬をおすすめします。牡馬は子をませせるという目的がないのであれば、去勢した方が飼いやすいです。競技で使うといった際には、多少は気性が荒い方がいいという方もいますが、ペットとして飼うのであれば牝馬かセン馬が良いですよ。

09 仔馬の頃から飼うのは難しいですか？

素人が飼うのは難しいです。慣れたりしますが、またがった時に振り落されてしまうでしょう。そこはプロに任せるのが良いと思いますよ。ポニーなどの小さい馬であればできるかもしれませんが、乗用馬の場合は乗れる段階までは業者や乗馬クラブなどでやってもらってから購入することをおすすめします。調教する技量をお持ちなのであれば仔馬から飼ってもいいかと思いますが、ある意味命がけの仕事ですからおすすめしません。ミニチュアホースの場合は乗ることが目的ではないですから、仔馬からでも大丈夫です。

10 ミニチュアホースは家の中で飼えますか？

サイズの飼えないことはないですが、あまりおすすめしません。狭い場所でしか飼えないのであれば最低限1日1時間程度の散歩を朝晩2回、そして広い場所で自由に放牧してあげられるのであれば放牧できない部分は最低限カバーできるでしょう。ただ、人間と同じ生活下で飼うのですから、馬自身が馬であることを忘れ人間化してくる傾向がみられます。人間が食べているものを欲しがるとか。もともと草食動物ですから、

人間の食べるものを与えるのは関心しません。長生きさせてあげたいのであれば、できれば馬らしく生きられる環境を用意してあげましょう。

11 1頭飼いがいいのでしょうか、それとも複数飼いがいいのでしょうか？

馬は群れの動物ですから1頭よりも複数いた方が幸せだと思います。ただ、人間にも1人が好きという人がいるように馬にもそれぞれ個性はあります。それを人間のエゴでペットにするワケですから、1頭しか飼えないとなるんですけどね。1頭飼いとよく人に慣れるので飼いやすいとは思いますが。ただ、馬は自分の姿が見えないから、自分が馬だって認識が薄れてきちゃうんです。2頭飼いたった場合はお互いの姿が見えますから、馬同士共存しあい、2頭はすごく仲良くなります。ただ、その場合は人間を見下すようにもなります。1頭飼いで多頭飼いでそうですが、ボスは誰なのかをしっかりと認識させることが重要です。あと、乗用馬の場合はこれまた難しいんです。2頭飼った場合、その馬たちはものすごく仲良くなります。が、例えば1頭に乘って出かけた場合、もう1頭は留守番となります。姿が見えなくなると残った1頭はものすごく鳴くんですよ。それを聞くともう1頭も鳴く。それで残った1頭がもう1頭の姿を追って柵を越えちゃったとかトラブルのもとにもなりやすいんですね。だから私は乗用馬の場合は1頭、複数の場合は3頭飼うことをおすすめします。その場合は1頭で出かけても残るのは2頭だから寂しくないんですよ。

12 獣医さんの紹介はしてもらえますか？

離れた場所であれば私もインターネット等で調べるしかないので、皆さんが調べるのと一緒に。ネットの他に、役所でも教えてくれますし、家畜保健所に問い合わせても教えてくれると思いますよ。



我が家に
馬が
やってきた!

同牧場の馬はどの子も人懐っこい。カメラに興味津々なのが寄ってくる……。

飼うための設備と準備

13 馬房の広さと、放牧場(運動場)の広さはどのくらい必要ですか？

ミニチュアホースであれば放牧場は最低20坪くらいあればいいと思います。厩舎は高さ1.3m、間口は1.5m、奥行1.8mのものは用意してあげてください。もちろんこれは最低限のサイズで、広ければ広いに越したことはありません。乗用馬の場合馬房は一間半二間っていいますが、それだと2.7×3.6mになります。放牧場は、最低限走り回りたいというのであれば、100坪程度は必要かと思います。でも、これらには決まりっていうものはありません。広ければ広いほど馬にとっては快適でしょう。

14 馬房には何を敷けば良いですか？どのくらいの割合で代えたらいいですか？

藁がおがくずですね。交換の頻度は汚れたり湿ったりしたらその部分を替えてあげます。馬がおしっこをする場合、例えば固い地面にするとそれが跳ね返ってきますが、それを嫌うんです。だからふかふかしたところにして跳ね返らせないんです。おがくずであれば、濡れたり汚れたりした部分を除き、新しいものを補充します。藁であれば、外に出して乾かして、また入れてあげます。藁は馬が多少は食べますから、減っ

たら補充してあげてください。

15 馬房、放牧場(運動場)の日当りはどうしたら良いですか？

冬は日が当たった方がいいんですけど、暑さに弱い動物ですから放牧場にはなるべく日陰を作ってあげてください。馬房は日当たりよりも風通しの方を気にしましょう。窓を作って、夏場は扇風機をつけてあげてほしいです。湿気は、特に足元があまり糞尿だらけになるとツメの病気になりやすいので掃除は毎日こまめに行ってください。ポロ拾いやおしっこ部分を交換してサラサラのおがくずや藁をしいてあげます。

16 馬房の温度はどのくらいに保てばいいですか？

暖房は基本的に必要ないです。ただし内部が氷点下になるような場合は暖房も必要になります。外気温が氷点下になっても、厩舎の中はそこまで温度は落ちないと思います。逆に夏場、馬房内が30度以上になると馬も熱射病になりますので扇風機か冷房が必要です。扇風機で十分だとは思いますが、

17 馬房を作るにあたって必要な点、注意点を教えてください。

広さについては前述したとおりです。あと

は窓を付けて風通しは良くしてあげてください。それと、天井が高いと空間が広がって馬も喜びます。高さは十分にとってあげてください。普通厩舎には天井を設けず、梁がむき出しというところも少なくないですが、個人の場合はそうもいかないこともあるでしょう。その場合はなるべく高くしてあげた方がいいですね。

18 馬房の中、放牧場での注意点はありますか？

ケガをさせないように、釘みたいなのがでていないかはチェックしてください。厩舎のドアが格子状になっているところもありますが、肢を突っ込んでケガしないよう、格子の間隔には注意しましょう。放牧場では、よく植木を置いている人がいますが、中に置くと馬が食べちゃう可能性が高いです。柵の高さは馬が出ないよう、十分な高さをとって柵の間隔にも注意しましょう。ミニチュアホースであれば、杭の高さはだいたい1m、柵は30cmおきに3本くらいあれば大丈夫です。乗用馬であれば、杭の高さは1.5mくらいあれば良いと思います、その間に2ないし3本柵を入れてあげれば大丈夫。杭や柵はあまり薄いもので作ると腐ったり折れたりしやすいから、丈夫で十分な厚みのある素材で作しましょう。

飼いはじめてからの疑問

19 しつけ(調教)は必要ですか？

もちろん必要です。目的によりますが、例えばミニチュアホースを飼う場合の最低限の調教は、散歩に連れて行く際に人間が止まれば馬も止まる、そして人間が歩けば馬も歩くというように、常に人間が主導権を握るような調教が必要になります。馬を先に行かせない、それが絶対条件です。乗用馬の場合は騎乗しての調教になりますが、それは難しいのでまずは購入先や乗馬クラ

ブなど、プロの方に指導を受けてからやるようにしたほうがいいと思います。

20 外の環境に慣らすにはどうしたら良いですか？

周囲の環境に慣れさせるのは大事なことです。馬は順応性が高いので、徐々に驚いたりすることも少なくなると思います。注意する点は、馬が外的環境で驚いている時に無理に乗ろうとしないことです。放牧中に大きな物音がしても驚かなくなったらよ

うやく乗れる、ぐらいいに思っておいてください。

21 世話をする時間はありますが、高齢で自信がありません。運動は放牧や調馬索だけでは飼えませんか？

十分な広さの放牧場があれば放牧だけで十分です。調馬索はかければ運動になりますが、馬は自分の意思で体がなまってきたと思えば走ります。無理に運動させなきゃいけないということはありません。



放牧に放たれたミニチュアホースは、うれしそうに場内を駆け巡る!?

22 放牧はどのくらいの方が良いですか？

長ければ長いほど良いです。一番理想的なのは、厩舎と放牧場が一体型になっていて、厩舎のドアは開きっぱなしにしておく。エサは厩舎の中に置いておく。そうすれば馬は食べたいときに食べ、食べ終わったら外に出て散歩して、雨や雪、そして暑さや日照りの際には厩舎に入る。それを馬の自由にさせてあげるのが理想の飼育方です。

23 時間が不規則なんです、決まった時間に運動させた方が良いですか？

決まった時間っていうのは運動よりもエサですね。運動は毎日やらなきゃいけないかというと、そうでもないんです。ただ、運動ができなくても放牧だけはさせてあげてください。基本的に馬は人間に乗ってほしいなんて思ってはいません。馬は人を乗せて喜んでくれるって思いがちですが、それは間違いです。だから毎日乗ってあげなければいけないとか、毎日調馬索をしなければいけないなんてことはありません。むしろ重要なのは毎日放牧がキチンとできているかです。

24 運動量はどのくらい必要ですか？

ミニチュアホースの場合、放牧できない環境であれば1日1時間程度の散歩を2回、そして最低限1回は広いところで引き綱を放して自由にさせること。乗用馬であれば、放牧できない環境下では飼うことはおススメできません。運動量を気にするよりは、放牧できるシチュエーションが持てるかどうかを気にしてあげてください。

25 装蹄はどのくらいの割合で行えば良いですか？

スエトシ牧場では2カ月に1回の割合で装蹄師に来てもらっています。蹄鉄を履かせていないので削蹄のみです。ミニチュアホースなどペットとして飼うのであれば、蹄鉄を履かせないで飼うこともおすすめします。削蹄の頻度は、地面が硬ければ減る率が多いので頻繁には必要ないのですが、地面が柔らかいようだとけっこう伸びます。馬にもよりますが、だいたい2カ月にいっぺん

装蹄師さんを選んで削蹄してもらい、その際に頻度についてアドバイスを受けても良いかと思います。

26 飼料はどんな物を選べば良いですか？馬に食べさせてはいけない物はどんな物ですか？また、おやつはどのくらいあげても大丈夫ですか？

馬は草食動物なので、一般的なのは干し草ですね。馬にとって一番いい草はチモシーです。あとはアルファルファ（ルーサン）などもあります。ルーサンはマメ科の植物なので栄養価が高く高カロリーです。与えすぎると疝痛を引き起こすガスがたまってお腹が張る可能性もありますし、太りやすいです。チモシーはイネ科なのでバランス的にも馬には適していますね。ただ値段はやや高めです。イネ藁なんかも喜んで食べます。乗用馬であればそのまま与え、ミニチュアホースなら刻んで与えましょう。腸の働きが良くなり、疝痛予防にもなります。それらの草系飼料をメインにして、ふすまや大麦などを与えます。燕麦もよく与えますが、これも高カロリーなので乗馬で使う場合はあまり与えないほうがいいでしょう。夏場は汗をかくので塩分補給で岩塩や硬塩を置いておき、自由に舐めさせるようにしてください。草食動物ですから基本的には草だけでもいいんですけど、ふすまや大麦などを混ぜてあげるとバランスが良くなります。ニンジンやリンゴはあくまでおやつ程度に1日数本程度であればあげてもいいかと思います。よく角砂糖をご褒美にあげる人もいますが、虫歯などの影響を考えるとあまりおススメできません。夏場は野草を刈ってあげるのも良いですね。クローバーやタンポポなどはよく食べます。中には馬が食べない草もありますが、それらは馬が本能的に食べないので、食べ残しているような草があったら次回からそれは採らないようにしましょう。食べられる草、食べられない草は本などにも載っていますから、気になる方は調べてもいいかと思います。

27 馬の食事の量・時間・回数を教えてください。

馬に1日にあげていいエサの総量はほぼ決まっています。それを最低朝と夜の2回に

するか、昼も入れて3回にするのか、何回に分けるかは自身で決めてください。ただし、毎日あげる時間を決めたらそれは守ってあげること。仕事が遅くなったからいつもよりあげる時間が2時間遅れたなんてことはしないようにしてください。できるだけ決まった時間にあげるのが良いです。量については個体差などにもよりますが、1回分の目安として1時間半かけてなくなるぐらいがちょうど良いと思います。

28 水はどのくらいあげた方が良いですか？

水は常に用意してください。夏の暑い時期はいっぱい飲みますし、逆に冬になればあまり飲みません。ただ飲みたい時に飲ませてあげないと疝痛のもとになるので、必ず飲めるようにしておきましょう。水はバケツであげるのが一般的です。自動で水が満たされるような装置もありますが、そこまで用意する方は稀でしょうから、バケツで大丈夫です。水は常にきれいな状態を保つようにチェックしましょう。汚れていたら取り替えます。水は水道水で大丈夫です。

29 いつも決まった量の飼料をあげた方がいいですか？

こまめに馬の状態をチェックしてあげられたらベストですが、なかなかできることではありません。例えばある日さんざん乗って馬も疲れているだろうから、麦やふすまをちょっと多めにあげるというのは良いかと思いますが、普段は沢山あげない方が良いでしょう。草系の飼料であれば、基本的にいくらあげてもOKです。逆に、食べ残すぐらいの方がいいです。エサが足りないと厩舎の木をかじったり、ボロを食べちゃうんですよ。できるだけ草類は多めにあげましょう。

30 年齢や馬体によって栄養素は違いますか？また、飼料は年齢と共に変えた方が良いですか？

仔馬だからこのエサをあげるとか、老齢になったからといって、エサを替えるというのは馬にはあまりないです。ただ、馬は歯が伸びてくるので、その場合は噛み合わせが悪くなって、ヘイキューブ（乾燥飼料）が噛み砕けなくなってくる。その際は獣医

我が家に馬がやってきた!

ミニチュアホースの放牧場と養老馬の放牧所は隣り合わせ。みんな仲良さそうだ。



さんを読んで削ってもらってください。これは個体差があり、一生削らずに済むという馬もいます。歯については定期的に獣医さんの検診を受けましょう。

31 体の手入れは毎日行った方が良いですか？

気を使ってほしいのは蹄の手入れです。蹄の裏に石が詰まっている可能性がありますので、裏掘りをしてあげましょう。ただあまり神経質になり過ぎて奥深くまで掘り過ぎると傷を作ってしまうそこから菌が入ることがあります。あくまで石を取ってあげる程度にとどめるのが大切です。ブラッシ

ングは普段からしてあげてください。夏場の暑い時は水洗いしても大丈夫ですが、冬場はできるだけ水洗いは避けましょう。風邪をひくもとになります。

32 予防接種や健康診断はどうしたら良いですか？

予防接種は日本脳炎、破傷風、インフルエンザなどは接種できます。最近はありませんが、インフルエンザは義務のところもあります。万が一インフルエンザに発症した場合、近隣に乗馬クラブなど馬を飼っているところがあると大変なことになりますから受けておくことをおす

めます。詳細は家畜保健所などに指導を受けてください。接種は大動物の獣医さんが行います。

33 ポロやおしっこの処理はどうしたら良いですか？

特に糞尿の処理は重要です。匂いはほとんどしませんが、できるだけこまめに処理をしないと近所トラブルのもとになります。ポロは堆肥としてすごく貴重ですから、引き取ってもらう農家の方を探しておけたら理想的です。生ごみとして出すことはできませんが、せっかくですから必要としている方に引き取ってもらってください。

馬の老後とその最期

34 老後はどうしたら良いですか？

ミニチュアホースであれば、最後まで面倒をみてあげてほしいですね。例えば犬を飼ってたとして、それが年老いたからってどこかには出さないでしょう。それと同じです。自分の家で全うさせてあげましょう。乗用馬になると、これは少し違ってきます。死んだ際の処理の問題などもありますし、もし自分の家で全うさせられないのであれば、養老牧場などに預けて面倒をみるという方法もあります。また年取って馬運車にも載せられないような状態であれば、安楽死させる処理業者を頼む、もしくは精肉業

者に引き取ってもらうという選択肢もあります。人間だって年を取りますが馬も同じです。ウチでは死なせられないし、肉にするのもかわいそうなんて言うてはいられないのです。馬を飼うということはきれいごとだけでは済みません。最期はどういう道を選ぶのか、それもわかった上でなければ馬は飼えません。

35 亡くなった場合はどこに連絡したらいいですか？

家畜保健所に連絡すれば、処理業者などを教えてくれます。基本的に自分の家の敷地であっても埋めてはいけないことになっています。

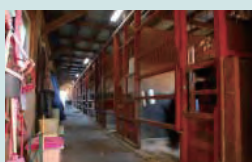
36 死亡届はあるんですか？

それはいらないです。狂犬病の予防接種が義務となる犬と違って馬は基本的には飼う際の届け出は必要はありません。ですが、都道府県によっては必要なところもあるようなので、飼う前段階で家畜保健所に聞いておいてください。

以上、藤原さんに様々な注意点を教えてください。ただしこれらはケースバイケースで変わってくる。必ずしもすべての馬に当てはまるという訳ではないので注意して欲しい。

スエトシ牧場

長野県佐久市のスエトシ牧場は、馬が生活するのに適しているという標高1,000mの高原地帯にある。夏でもさわやかで涼しい環境の下、馬をはじめとする多くの動物たちがのびのびと暮らしている。外乗・エンデュランスなどの乗馬体験はもちろん、ファームステイや体験学習などのメニューも用意。馬の養老牧場や馬の販売なども行っている。また、馬以外にも多くの動物がここでは仲良く暮らしている。そんな彼らとコミュニケーションをとれるふれあい動物園なども行っている。1日を楽しく過ごせることは間違いなしの乗馬クラブなのだ。



厩舎十分なスペースが確保されている。その中ではこまな良い感じ。二回この他にも敷地内に数棟厩舎がある。は就寝用に二部屋が用意される。



ファームステイ用の宿舎。ウッティな造りが良い雰囲気だ。

スエトシ牧場

[ADD] 長野県佐久市志賀31

[TEL] 0267-68-5210

[URL] www.bokujo.co.jp

[定休日] 水曜日(祝日の場合は翌日)

※馬の販売情報など、スエトシ牧場の情報は、上記の同牧場ホームページにアクセスしてみてください!!